

車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和3年2月号②】

感染症予防対策の徹底を！

《重点目標》『自立した品格を目指し 学び合い 認め高め合い 最後までやり遂げよう』

前号に引き続き、学校評価アンケートの結果をお伝えします。

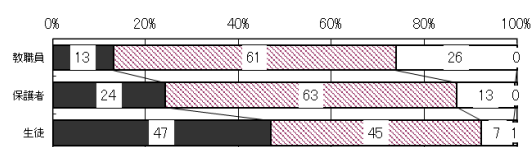
※ No. 9 以降については、次号でお知らせいたします。

<心の教育と生徒指導の充実>

4 よいあいさつ、身だしなみ、言葉遣いを心がけている。

昨年度との比較では、教職員が0.3ポイント下がりました。保護者、生徒の評価に反して教職員の評価が下がった理由は重点目標「品格」の達成までには至っていないと考えているからだと思います。一方、生徒と保護者の評価値は上がっています。特に生徒については生徒会が中心となって主体的に進めている「3つの習慣」（「あいさつをする習慣」、「下足をきれいに、きちんと並べる習慣」、「返事を、相手に分かるようにする習慣」）に意識してよく取り組めたと評価した結果であると思われます。

4 よいあいさつ、身だしなみ、言葉遣いを心がけている。



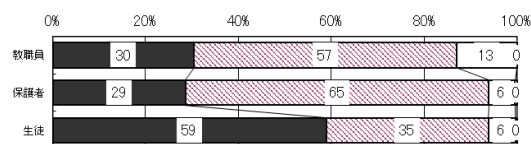
《今後の取り組み》

この項目で取り上げている基本的生活習慣は、生活の基盤となる重要な項目です。生徒自身が重要性を実感し、継続して自ら進んで取り組めるように支援・指導していきたいと思います。

5 思いやりをもって人と接するように心がけている。

教職員・生徒ともに昨年と同じ結果となりました。保護者の方にも学校の指導をおおむね評価していただきました。A評価に焦点を当てると、教職員・保護者のA評価の割合が生徒の約1/2と低いのは、日常生活の中で軽はずみな言動で相手の心を傷つける場面を目にしたり、指導したりしたことを踏まえた評価になったからだと思います。

5 思いやりをもって人と接するように心がけている。



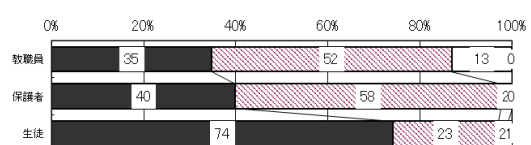
《今後の取り組み》

学年の実態に応じて、道徳の授業や学年集会などの機会をとらえ、相手を尊重して思いやりの気持ちをもって接するという点について、今後も指導を継続していきたいと思います。

6 生命を大切にするようにしている。

教職員、保護者、生徒となるにつれ、A評価の割合が35%、40%、74%と高い値となっています。教職員の評価が低いのは、学校の指導場面だけでは、生徒の実態を把握するには情報不足であるという背景があるのかもしれません。

6 生命を大切にするようにしている。

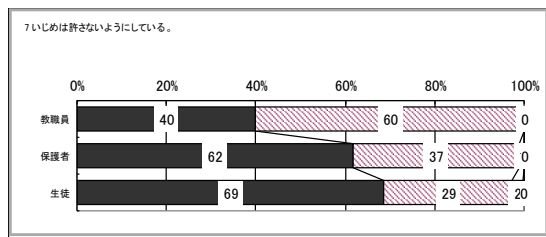


《今後の取り組み》

今後は、道徳の授業や豊かな体験活動を通し、命の大切さを実感する場をより多く設定し、継続して指導していきたいと思います。

7 いじめは許さないようにしている。

昨年度との比較では、教職員と生徒が0.1ポイント増加、保護者では0.1ポイント減少となりましたが、高い値を示しています。いじめによる中学生の自殺という痛ましい事故がマスコミで多く報道されています。このような形で尊い命が失われることはあってはならないことです。本校では、生徒には毎月、保護者には隔月でいじめアンケートを実施し、いじめが疑われる回答に関しては、早期に教育相談を行うなど、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない指導を徹底しています。

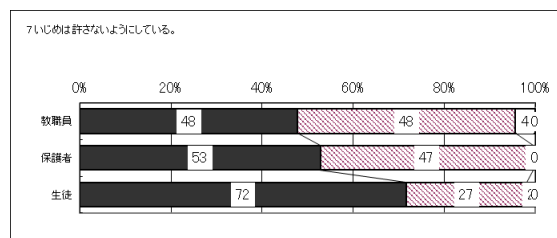


《今後の取り組み》

今後もアンケートに加え、普段の観察に向けた教職員のアンテナを高くするとともに、道徳の時間を充実させて心を育て、積極的な生徒指導を進めていきたいと思ひます。家庭・地域に向けたいじめを許さない取り組みについての情報発信の機会も多くしていきたいと思ひます。

8 楽しく学校生活を送っている。

昨年度、新設した評価項目です。この項目は新たな不登校生徒、不登校傾向生徒を生み出さない上で大変重要であるとしてらえています。評価の平均値では、生徒については0.1ポイント減少しました。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため様々な制限があった中での学校生活ということもあり、結果に表れたと考えられます(1年生：3.6、2年生：3.4、3年生：3.2)。学校では、学級担任をはじめ学年教師や養護教諭による生徒の実態に応じた支援をしています。



《今後の取り組み》

担任を中心に学年主任、養護教諭のサポート体制を継続しながら、今後も互いを認め、賞賛し合える学級風土を作り、楽しく学校生活を送ることができるよう支援していきたいと思ひます。また、家庭と学校が連携し、生徒が楽しいと思える学校、保護者が安心して通学させられる学校をめざした学級経営、学校経営に継続して努めていきます。

※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。